

令和7年度 幼保小連携推進地区事業 青木地区 活動報告

テーマ

子どもの育ちと学びをつなぐ幼保小の連携

青木地区

- ・ 神奈川幼稚園
- ・ 青木小学校

テーマ設定の理由

- ・30以上の幼稚園・保育園から入学
→さまざまな思いをもって入学してくる子どもたち
- ・一昨年度までのスタートカリキュラムの見直しと充実
- ・年間を通して 育ちと学びをつなぐことを大切に

「学びは遊びの中に」

- 「非認知能力」の伸長を大切にした保育

「遊び」の中で、想像力、知的好奇心、言語、空間認識、手先の運動機能、芸術的感性、最後までやり抜く忍耐力、創造性、社会性など、子どもの心身の発達にとって欠かすことのできない要素は遊びから習得するものという考えのもと、保育の充実を目指します。

- 一斉活動も積極的に取り入れています。



遊ぶときは思いっきり遊び、秩序や静寂が求められるところでは、それに相応しい行動ができるように心がけています。



「生きる 創る そして輝く」
～子どもと創る 「青木の風」～



「子どもたちと学校生活全般を創ろう」

- ★子ども自らが主体的に活動し、青木の生活を創り共に輝いていこうとする姿
- ★子どもたちの力を信じ、子どもと学びを創り上げる探究的かつ創造的な学習を展開 その充実発展

幼保小連携推進2年目の主な活動

【4月】 スタートカリキュラムの充実実施

- 1年担任が訪園 園の環境、保育から学ぶ
- 4校のスタカリ授業公開（鶴見 本郷台 東本郷 初音ヶ丘）
に1年担任参加
- 自校のカリキュラム、環境、指導の見直し

【8月】 実施しているスタカリの見つめ直し

- 多園を訪問し、環境や保育から再度学ぶ
- 自校のカリキュラム、指導の見つめ直し・改善

【12月～】 次年度に向けての子ども同士の関わり合い

- 1年生と年長児
- 5年生と年長児

【4月】訪園 指導の見つめ直し

園で育てている力の確認



「園ではどうしてた？」
の一言を

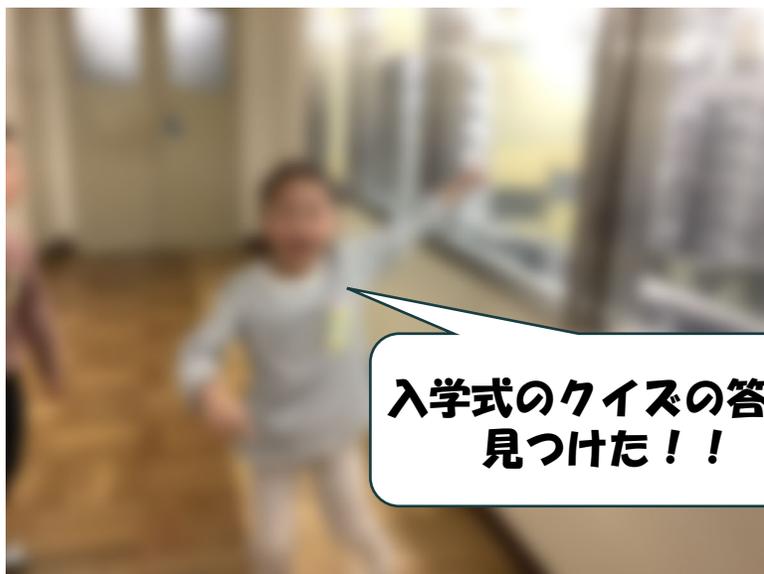
【訪園して学んだこと 資質能力育成】
(10の姿の具体での理解)

- 自己決定力：遊びの場 声掛けの工夫
- 協働性：サークルタイム
- 自力解決力：話し合う題材等の工夫
- 主体性：歌や手遊びから活動へ

学校の指導で生かせる!

【4月】スタカリ授業研究会から学ぶ

つなげる・仕立てる 大切さ



入学式のクイズの答え、
見つけた！！

【園の保育等の生かし方を 具体で学ぶ】

- 初音ヶ丘 東本郷 鶴見 本郷台の研究会に参加
- 遊びから導入する 活動の工夫
- 合科的な学習の在り方の実際

※職員のキャリアに応じた学びを得る

わくわくの連続を大切に

【8月】他園の保育からリフレクション

これまでの振り返り 次へ生かす

6年生も時々 サークルタイム・・・



【自らの指導のリフレクション】

- 約束の視覚化
- 遊ぶものを 今一度選定
- 話合いのタイミングと方法 等

じっくり 戻りながら

休み明けもゆっくりスタートで大丈夫！子どもを信じよう。

【11月】年長児と1年生の交流

青フェスのパビリオンリハで



【子どもたちの様子】

- ・1年生から「園の子たちを呼びたいな。」と発案
- ・目線を合わせて、わかりやすい説明ができるよう、工夫
- ・園児も「早く1年生になりたいな。」と期待をもつ姿が

【12月 2月】年長児と5年生の交流

クラスごとに 集会で交流



- 園から好評！
- 保育士と子どもの再会も
- 5年生にとって 最高学年の意識の醸成に有効

互恵性の高い交流

【1月】園との距離が近づいて

校庭等に園児がいるのが 当たり前



園児が校内にいることが、少しずつ
普通のこと・・・

互恵性の高い交流

成果・来年度に向けて

〇 <<成果>>

- ・スタートカリキュラムをより見直したことで、教師の余裕も出て、子どもたちを「見つめる」ことを重視できた。
- ・5年生の交流を取り入れることが、本校の理念や5年生の意識の醸成にも効果があった。
- ・高学年との交流は園にも好評だった。

〇 <<来年度に向けて>>

- ・交流園を1園から2園へ
- ・スタカリのより一層の充実 年度当初 年間を見通したカリ作成の重要性を理解一形ではなく 創造すること
- ・入学式への新6年生の参画